

最初の王, サウル

シリーズ～旧約聖書入門～

2012/5/27

イスラエル最初の王,サウルの任職

➤ベニヤミン族出身のイケメン青年

- 「サウルという息子があった。美しい若者で、彼の美しさに及ぶ者はイスラエルにはだれもいなかった。民のだれよりも肩から上の分だけ背が高かった。」9:2

➤主の命により,サムエルは彼に油を注いだ

- 「あなたは彼に油を注ぎ(マーシャ)、わたしの民イスラエルの指導者とせよ」9:16
- 「サムエルは油の壺を取り、サウルの頭に油を注ぎ、彼に口づけして、言った。『主があなたに油を注ぎ、御自分の嗣業の民の指導者とされたのです。』」10:1

民に紹介されるサウル

➤ 神の霊が激しく降り、預言したサウル

- 「ギブアに入ると、預言者の一団が彼を迎え、神の霊が彼に激しく降り、サウルは彼らのただ中で預言する状態になった。」10:10

➤ くじ引きで選び出されたサウル

- 「ベニヤミン族がくじで選び出された。そこでベニヤミン族を氏族ごとに呼び寄せた。マトリの氏族がくじで選び出され、次にキシュの息子サウルがくじで選び出された。」10:20-21
- 「サムエルは民全体に言った。『見るがいい、主が選ばれたこの人を。民のうちで彼に及ぶ者はいない。』民は全員、喜び叫んで言った。『王様万歳。』」10:24

初陣の大勝利

➤ アンモン人が攻め上り、ヤベシの民を脅した

- 「アンモン人のナハシュは答えた。『お前たちと契約を結ぼう。ただし、お前たち全員の右の目をえぐり出すのが条件だ。それをもって全イスラエルを侮辱しよう。』」11:2

➤ サウルは全イスラエルを招集した

- 11:6-7「それを聞くうちに神の霊がサウルに激しく降った。彼は怒りに燃えて、一軛の牛を捕らえ、それを切り裂き、使者に持たせて、イスラエル全土に送り、次のように言わせた。『サウルとサムエルの後について出陣しない者があれば、その者の牛はこのようにされる。』民は主への恐れにかられ、一丸となって出陣した。」

➤ サウルとイスラエル軍はアンモン人を撃退し、サウルは目実共にイスラエルの王となった

ペリシテとの全面戦争

➤ サウルがペリシテの領地を脅かすようになり、ペリシテとの全面戦争に発展した

➤ 「ペリシテ軍は、イスラエルと戦うために集結した。その戦車は三万、騎兵は六千、兵士は海辺の砂のように多かった。」13:5

➤ 民は怖じ気づき、多くは逃げ帰ってしまった

➤ 「イスラエルの人々は、自分たちが苦境に陥り、一人一人に危険が迫っているのを見て、洞窟、岩の裂け目、岩陰、穴蔵、井戸などに身を隠した。ヨルダン川を渡り、ガドやギレアドの地に逃げ延びたヘブライ人もあった。しかし、サウルはギルガルに踏みとどまり、従う兵は皆、サウルの後ろでおののいていた。」13:6-7

地図

大 海
(地 中 海)

ミクマス

ヤベシ

アンモン

ギルガル

パルシタ

アマレク

サウルは、イスラエルの平原を通り、イスラエルを侵略した。イスラエル軍は敗北し、サウルはホルモア山で死んだ。

サウルは、ヤベシ・ギルガルを包囲したアモン人を助けた。その勝利によって全イスラエルの王と宣言された。

ヨナタンのミクマスでの戦功により、ダビデ人は敗北した。

サウルは追われ、ついにベリン山の中に身を投げ、ツラガに住んだ。

サウルはアマレク人を破り、ユダの南境界線を守った。

1度目の失敗

➤ サウルは、サムエルが来るのを7日間待った

- 「サウルは、サムエルが命じたように、七日間待った。だが、サムエルはギルガルに來なかつた。兵はサウルのもとから散り始めた。」13:8

➤ 兵がどんどん逃げていくのを見て、サウルは自分でいけにえを献げてしまった

- 「サウルは、『焼き尽くす献げ物と和解の献げ物を持って來なさい』と命じて、焼き尽くす献げ物をささげた。焼き尽くす献げ物をささげ終えたそのとき、サムエルが到着した。」13:9-10

➤ 律法を破ったサウルは**王失格**となった

- 「サムエルはサウルに言った。『あなたは愚かなことをした。あなたの神、主がお与えになった戒めを守っていれば、主はあなたの王権をイスラエルの上にいつまでも確かなものとしてくださっただろうに。』」13:13

イスラエルには鍛冶屋がいなかった！

- 「さて、イスラエルにはどこにも鍛冶屋がいなかった。ヘブライ人に剣や槍を作らせてはいけないとペリシテ人が考えたからである。それで、イスラエルの人が鋤や鍬や斧や鎌を研いでもらうためには、ペリシテ人のところへ下るほかなかった。鋤や鍬や三つまたの矛や斧の研ぎ料、突き棒の修理料は一ピムであった。こういうわけで、戦いの日にも、サウルとヨナタンの指揮下の兵士はだれも剣や槍を手にしていなかった。」13:19-22

2度目の失敗

- 主はサウルに名誉挽回のチャンスを与えた
 - 「行け。アマレクを討ち、アマレクに属するものは一切、滅ぼし尽くせ。男も女も、子供も乳飲み子も、牛も羊も、らくだもろばも打ち殺せ。容赦してはならない。」15:3
- サウルはアマレクを討ったが、上等な家畜は殺さなかった！
 - 「サウルと兵士は、アガグ、および羊と牛の最上のもの、初子ではない肥えた動物、小羊、その他何でも上等なものは惜しんで滅ぼし尽くさず、つまらない、値打ちのないものだけを滅ぼし尽くした。」15:9

責めるサムエル, 言い訳するサウル

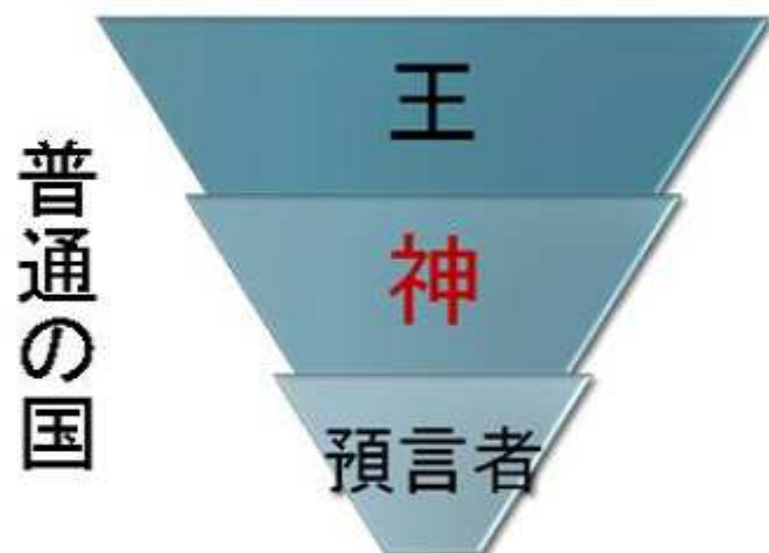
＜サムエル＞「何故あなたは、主の御声に聞き従わず、戦利品を得ようと飛びかかり、主の目に悪とされることを行ったのか。」15:19

＜サウル＞「兵士が、ギルガルであなただの神、主への供え物にしようと、滅ぼし尽くすべき物のうち、最上の羊と牛を、戦利品の中から取り分けたのです。」15:21

＜サムエル＞「主が喜ばれるのは／焼き尽くす献げ物やいけにえであろうか。むしろ、主の御声に聞き従うことではないか。見よ、聞き従うことはいけにえにまさり／耳を傾けることは雄羊の脂肪にまさる。」15:22

イスラエルにおける「王」の役割

- 王であっても、神の命令、戒めには100%従わなければならない
 - 他国では、王がすべての権利をもち、法律であった
 - イスラエルでは、神がすべての権利を持ち、神が法律であり、**王は神に従う模範**に過ぎない



サウルはなぜ失敗したのか

- 自分勝手にいけにえを献げた
 - 強大な敵を前に、味方の兵がどんどん減っていった
 - 目に見える出来事によって心配になり、恐れた
 - 神様の約束を待ちきれなかった
- 戦利品の一部を取っておいた
 - 「もう少しなら大丈夫」と思ったのでは？
 - 強大な敵を打ち破り、高ぶった
 - 兵士のせいにした！＜エデンの園の繰り返し＞
- 神の命令を軽んじた！

一番大切なこと

「主が喜ばれるのは
焼き尽くす献げ物やいけにえであろうか。
むしろ、
主の御声に聞き従うことではないか。
見よ、聞き従うことはいけにえにまさり
耳を傾けることは雄羊の脂肪にまさる。」

＜サムエル記上15:22＞